

学習の指針（シラバス）

教科名	社会	実施学年	3年	週時数	4時間
-----	----	------	----	-----	-----

1、学習の目標

- ・我が国の歴史の大きな流れを理解し、各時代の特色を理解できる。
- ・歴史的事象について考察、判断しその成果を自分の言葉で表現できる。
- ・民主政治の意義としくみ、国民の生活向上と経済活動、国際的な相互依存関係について理解できる。

2、学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考	評価
第1学期	4	【歴史的分野】40時間 ●5章 開国と近代日本のあゆみ ・2節 明治維新	・日本で近代産業が発展したことを、大陸との関係や国内外の反応、韓国の併合などから理解する。	10時間	中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	5	・3節 日清・日露戦争と近代産業 ●6章 二度の世界大戦と日本		15時間	
	6	・1節 第一次世界大戦と日本 ・2節 世界恐慌と日本の中国侵略 ・3節 第二次世界大戦と日本	・第二次世界大戦後、国際社会に復帰するまでの日本の民主化と再建の過程や国際社会への参加について理解する。	15時間	期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	7	●7章 現代の日本と世界 ・1節 戦後日本の発展と国際社会 ・2節 新たな時代の日本と世界	・現代の日本社会の特色と現状についての理解を深め、現代社会をとらえる見方や考え方を身につける。	15時間	レポートへの 取り組み
第2学期	9	【公民的分野】100時間 ●1章 現代社会と私たちの生活 ・1節 現代社会の特色と私たち ・2節 私たちの生活と文化 ・3節 現代社会の見方や考え方	・基本的人権についての理解を深め日本国憲法の基本的原則を具体的な生活との関わりからとらえるとともに、民主的な生活のためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。	10時間	中間テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	10	●第2章 個人の尊重と日本国憲法 ・1節 人権と日本国憲法 ・2節 人権と共生社会 ・3節 これからの人権保障		20時間	
	11	●3章 現代の民主政治と社会 ・1節 現代の民主政治 ・2節 国の政治のしくみ ・3節 地方自治と私たち	・日本の民主政治のしくみについて国の政治と地方の政治のそれぞれの特徴を理解し、国民の政治参加の意義について考える。	20時間	期末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み
	12	●4章 私たちの暮らしと経済 ・1節 消費生活と経済 ・2節 生産と労働 ・3節 価格の働きと金融 ・4節 政府の役割と国民の福祉 ・5節 これからの経済と社会	・経済活動の意義と市場経済の基本的な考え方、生産や金融の仕組みを理解し、企業の役割と責任について考える。	30時間	

第3学期	1	●5章 地球社会と私たち ・1節 国際社会の仕組み ・2節 さまざまな国際問題 ・3節 これからの地球社会と日本	・国際協調の観点から、日本の国際的な役割について考え、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を身につける。	10時間	学年末テスト ノート点検 ワークへの 取り組み レポートへの 取り組み
	2	●終章 より良い社会を目指して	・持続可能な社会を形成するという観点から、自分の考えをまとめる。	10時間	

3、評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
社会的事象についての知識・技能	社会的事象の知識及び技能の習得状況と、知識及び技能を関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。	・定期テスト ・小テスト
社会的な思考・判断・表現	社会的事象の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	・定期テスト ☆授業ノート・プリント ☆授業中の記録 ・レポート
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象の知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしている。	☆授業中の記録 ☆振り返り ・ワークへの取り組み ☆授業ノート・プリント ・レポート

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4、家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・ノートはB5サイズ以上のものを使用してください。（プリントがB5～B4サイズのため。）
A4サイズやリングノートを使用してもかまいません。
- ・副教材としてワークを購入しますので、日頃から復習で活用してください。定期的に提出してもらいます。ワークの答えを書き込む整理ノートがありますので、そちらに書き込んでください。（繰り返し学習できます。）
日常的に、授業でやった部分のワークを進めておけるとよいです。
- ・夏休みに宿題を出します。（昨年度：“税の作文” 作文）計画的に取り組んでください。

5、教材等について

- ・教科書：東京書籍「新しい社会 歴史」「新しい社会 公民」
- ・副教材：浜島書店「千葉県版 新しい公民」 学宝社「学習整理 公民」
とうほう「グラフィックワイド歴史 千葉のあゆみ 千葉県版」
- ・その他：教科書、ノート、ワーク、資料集は毎時間の授業で使用します。
はさみ、のり（プリントを配布します。）・色鉛筆を使うことがあります。準備しておいて下さい。